

《日本リンホフクラブ講評会の作品提出についてのお願い》

この度、勉強会委員会では講評会時の作品投影方法を、従来の OHP（オーバーヘッドプロジェクタ）方式から、より操作性、再現性の良い最新式の液晶プロジェクターを導入した方式に変更する事を決定致しました。

新方式は会員からお預かりした作品（ポジ）を、事前にデジタル一眼レフカメラと専用接写装置を利用して撮影し、これをパソコン経由で液晶プロジェクターで投影します。ただ問題はお預かりしたポジが通常のスリーブのままだと水平・垂直出しが難しく、撮影に時間が掛かってしまう事が判明致しました。

そこで作品を簡単に接写撮影できるように、事前に「講評会用マウント」に入れて提出頂く方式を採用致しました。これには講評会を受ける会員にはマウントを事前（当日も可）に購入頂かなければなりません。講評会運営の効率化をご理解頂きご協力の程お願い致します。

尚、10月31日に開催された吉村和敏先生による講評会では、早速新方式による作品投影を実施しましたが、何ら問題無く作品投影が出来ましたことをご報告致します。



講評会用マウントはフィルム出し入れが自由ですので、最低5枚セットを購入頂ければ、継続的に使用可能です。事前に事務局にて購入頂くか、講評会当日にお渡しできるように購入予約をお願い致します。

講評会用 4x5 マウント (5枚入)

700円 (税別) 756円 (税込)

講評会用 612 マウント (5枚入)

800円 (税別) 864円 (税込)



委員会が導入した最新式の液晶プロジェクター。色再現性やピント合致性も良い優れものです。



委員会が導入したフィルム接写装置。ライトボックスにセットしたマウント入りのポジを接写撮影します。

《講評会用マウントのフィルム出し入れについて》



講評会用に作品（フィルム）5枚とマウント5枚を用意します。

用意したフィルムを今までのスリーブから出します。指紋が付かないようにフィルムの端を持って下さい。

マウントはグレー色が表面でデータ記入欄があるのが裏面になります。マウントの短編に少し力を加え、裏面のフィルム挿入口よりフィルムを差し込みます。

フィルムの端を掴んでそのまま挿入すれば完了です。これで完成ですがくれぐれもフィルムの裏表にご注意下さい。

グレー面が表面ですので、この面を接写装置にセットして勉強会委員が撮影します。またフィルムを抜くときは挿入口編をトントンと叩けば取り出しが容易です。

※612 マウントはデータ記入欄面が表面になりますのでご注意ください。

日本リンホフクラブ 勉強会委員会